



金沢脳神経外科病院だより ふれあい 2008年 秋季号

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 浅ノ川
金沢脳神経外科病院 広報誌
第32号
発行所 メディア広報室
石川郡野々市町徳用町315
TEL 076-246-5600
FAX 076-246-3914
URL : <http://www.incl.ne.jp/knouge/>

病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様の権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者さまの権利

私達は患者の皆様の権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様の権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、充分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

病院長

理想と誇りを胸に

病院長 佐藤 秀次



高度医療を担うとともに地域病院としての役割を果たす。二つめは、「脳卒中や他の脳神経疾患の急性期から慢性期までの一貫とした医療を提供する。」

三つめは、「思いやりと明るさに満ちた患者中心の医療を提供する。」

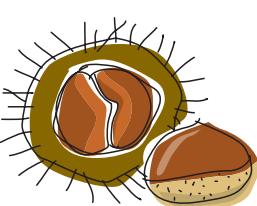
これらの目標と方針は、現在では本院の理念・基本方針の中核をなしており、私どもの進むべき道標となっています。

本院は昭和55年5月に脳神経外科専門病院として開院し、28年が過ぎました。開院当初、脳神経外科がどんな診療科なのか地域の方々の理解は乏しく、困ったことも多々ありました。しかし、今では脳・脊髄・脊椎疾患、末梢神経疾患などの治療を専門に行う科として広く認識されるに至りました。

私は、創立10周年の記念誌に患者さんのための病院作りと働きがいのある職場作りを目標とした三つの方針を掲げました。

一つめは、「専門病院として、地域医療の発展に尽力して参ります。」

一つめは、「専門病院として



と心得、

専門治療、回復期リハビリ―テーション、医療型療養を本院の地域における役割・使命

に患者さんのための病院作りと働きがいのある職場作りを目標とした三つの方針を掲げました。

「新病院の ご近所さん」紹介②

第2回目の今回は、

下崎整形外科医院です。



Tel 024-0802
石川県白山市専福寺町158番3
下崎整形外科医院
理事長

下崎英一先生

「年間の手術件数は約330件」

確かに技術といつも笑顔のある医院

新病院から鶴来方面へ約300mのところに今回紹介する下崎整形外科医院があります。同院の理事長でもある下崎英二院長は、外来診療と手術でお忙しい中、笑顔で取材に応じて下さいました。

『将来は医者になりたい』

先生は、子供の頃、先生のお父さまと交流のあつた地域で開業されている外科の先生との関わりの中で「人の役に立てる医師の仕事に就きたい」と思われたそうです。そして金沢大学に入学、医学部を卒業後、同大学の整形外科へ入局。昭和63年に治療の幅を広げるべく約1年間カナダに留学され、人工膝関節置換術に関する知識と技術の習得に向けて研鑽を積みました。帰国後は、金沢大学附属病院において、カナダ留学で体得した最新の人工膝関節置換術を施行。同大学整形外科講師、医局長を経て、平成8年4月、『気軽に通える診療所の中に大学病院にも見劣りしない医療体制』をコンセプトに、白山市専福寺町に開院されました。



ナビゲーションシステム

新築移転する当院に対して、入院機能のある病院がより近くになり心強いとのお言葉をいたしました。確かな技術に裏付けられた、笑顔のたえない明るい雰囲気の身近な医院「下崎整形外科医院」と互いの機能を生かし、地域の方々



下崎整形外科医院全景

『人工膝関節置換術のパイオニア』
下崎整形外科医院は、整形外科全般の診療を行っており、特に関節外科（膝・肩）・スポーツ整形外科に力を入れておられます。年間の手術件数は約330件、パイオニアとして定評がある人工膝関節置換術は年に100件近く施行されています。また、これらの手術精度を高めるために手術支援用のナビゲーションシステムを北陸で初めて導入するなど最新の医療機器・医療設備を積極的に採り入れていらっしゃいます。

『自分の身体』と思つて患者さまと接することが診療の基本

下崎先生の診療時におけるポリシーは、「患者さまが自分の身内だったらどう接するのか」という命題を常に頭の中に思い描くこと。インフレームド・コンセントによる患者さまとの信頼関係作りにも力を注いでおられ、患者さまの視点に立つて疾病的痛みや苦しみを分かち合つた後、数多くの治療法を説明しつつ、私だったらこの治療法を選択するという意思を明確に伝えるとおっしゃっていました。

- 【認定医等】
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ認定医
日本体育協会スポーツ医
日本整形外科学会リウマチ認定医

が安心・納得して医療を受けることのできる環境づくりを目指していきたいと今回の取材を通じて感じた次第です。

【略歴】

昭和55年	金沢大学医学部卒業	金沢大学 整形外科入局
昭和61年	金沢大学整形外科助手	医学博士取得
昭和63年	カナダ ウエスタンオンタリオ大学 留学	
平成2年	金沢大学整形外科講師	
平成3年	金沢大学整形外科医局長	
平成8年4月	下崎整形外科医院開院	
平成9年7月	医療法人社団下崎整形外科医院開設	

ふれあい健康相談開催

患者満足委員会



アピタ松任で「ふれあい健康相談」を行いました。今回も今まで同様に、多数の方にご来場いただきました。中には、健康相談のためアピタに来られた方もあり、地域の方々に認めていただけの催しに成長したのだなと、改めて感じ入りました。

健康相談は、大きく2つのコーナーに分かれています。ひとつは測定器具を使った測定コーナーです。こちらでは、骨密度、体脂肪、血圧などを測定します。なかでも、骨密度測定は骨粗しそう症を気にされる年代の方に好評でした。「ここだと無料なので嬉しい」というお話も聞きました。

ふたつめは各種相談コーナーで、当院の医師、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーらがみなさまからの相談にお答えしました。病院へ行くまでもないけれど、この機会に少し話を聞いてみたい、と気軽に相談されている方が多く見受けられました。

次回も、みなさまに喜ばれる催しにしたいと考えていますので、ぜひ楽しみにお待ちください。

10月3日に石川県産業展示館で、「しんきんビジネスフェア」「北陸ビジネス街道2008」が開催されました。当院は、今年で3回目の参加となります。当日のブースでは、11月に新築移転する新病院PRのためのパネル展示や各種測定機器を使用した健康診断、パソコンによる腰のMD手術の説明等を行いました。



しんきんビジネスフェアに参加して 連携室



※トリアージとは、災害発生時など多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために傷病者の治療優先順位を決定することをいう。



救急災害時トリアージセミナー

看護部

10月8日に白山市のアピタ松任で「ふれあい健康相談」を行いました。

今回も今まで同様に、多数の方にご来場いただきました。中には、健康相談のためアピタに来られた方もあり、地域の方々に認めていただけの催しに成長したのだなと、改めて感じ入りました。

健康相談は、大きく2つのコーナーに分かれています。ひとつは測定器具を使った測定コーナーです。こちらでは、骨密度、体脂肪、血圧などを測定します。なかでも、骨密度測定は骨粗しそう症を気にされる年代の方に好評でした。「ここだと無料なので嬉しい」というお話も聞きました。

ふたつめは各種相談コーナーで、当院の医師、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーらがみなさまからの相談にお答えしました。病院へ行くまでもないけれど、この機会に少し話を聞いてみたい、と気軽に相談されている方が多く見受けられました。

次回も、みなさまに喜ばれる催しにしたいと考えていますので、ぜひ楽しみにお待ちください。

10月3日に石川県産業展示館で、「しんきんビジネスフェア」「北陸ビジネス街道2008」が開催されました。当院は、今年で3回目の参加となります。当日のブースでは、11月に新築移転する新病院PRのためのパネル展示や各種測定機器を使用した健康診断、パソコンによる腰のMD手術の説明等を行いました。



患者さんコーナー

宇田 佳子 様

私は金沢脳神経外科病院において平成20年9月24日に腰椎椎間板ヘルニアの手術を執刀していただきました。発病した時は整形外科病院を受診しましたが、入退院から仕事を復帰までかなりの時間がかかると言われ悩んでいた時に当病院で手術を受けた知人から紹介を受けました。切開2cmのMD手術方法によって術後2週間で退院可能、仕事復帰も職種にもよりますが整形外科よりも早くできるというメリットを教えてもらいました。

自分なりに調べて納得をして7月に来院しました。その後、手術予定者の欠員がでて予定より早く手術を終えました。

手術前からは病院側からの丁寧な説明があり術後は手厚い看護を受け日々回復していました。

入院中、私は特に看護師の

いるからです。時には生死をさまよう現場に立ち会い、長引く療養生活から心を病む患者と向き合いいろんな仕事をこなさなくてはいけない……本当にご苦労さまと心から思いました。人はいつかは病院でお世話になる時が来るから、医師、看護師はなくてはならない職業だと入院中に改めて感じることができました。

11月に新病院完成となり新たに脳卒中・脊椎センターを設け先端治療に取り組むとの院長先生の談話を読み、とても頼もしく思いました。脳外科専門病院としてたくさんの患者の痛みや不安を取り除き大切な命を救ってくださる事を願つてやみません。

貴病院の益々の発展を祈念しております。

平成20年10月



いよいよ新病院の移転も間近に迫つてきました。公共交通手段の方も野々市町と白山市両自治体のご協力の下、巡回バスの乗り入れが決まりました。外観はすでに完成し、これからここにベッドやさまざまな検査機器、内装設備等が搬入され、病院らしくなっていきます。職員一同、楽しみでもあります、一段と気が引き締まる思いもいたします。

今後の診療日程ですが、外来診療は11月11日まで現在の建物で行います。11月12日から11月17日までは引っ越し作業のため、休診させていただきます。



新住所 〒921-8841
石川県石川郡野々市町郷町262-2
(電話番号は、変わりません。)

キャリードリームが来院

患者満足委員会

10月1日にボランティアグループのキャリードリームが来院され、入院患者さんと楽しいひと時を過ごしました。毎回、趣向を凝らしたステージを見せてくださり、長期入院の患者さんたちにとつて待ち遠しい行事の一つになっています。今回は、民謡・歌謡曲・ラン音楽、琴の演奏の他、皆でゲームをしました。自分の知っている曲では手拍子される方、一緒に口ずさんでいる方もいました。楽しそうに、ステージをご覧になつている姿を見て、私たち職員



も心温まる思いでした。